

# 第14回「地域創造のための観光マネジメント講座」2019年度(2020.1.11.~2.8.)

応募は「[観光カホームページ http://www.kankoryoku.jp/](http://www.kankoryoku.jp/)」からお願いします。

## 日程・担当講師・テーマ・講座概要

(日程変更が生じる場合があります。予めご了承ください。)

2020.1.11.~2.8.

開催日時	担当講師	テーマ	講座概要
<b>ステップ1(1月11日) 地域創造型観光の基盤:地域資源の再発見と再評価の方法</b>			
第1回 1月11日(土) 10:00~11:10	京都外国語大学 特任教授 吉兼秀夫	「地」の観光としてのエコ ミュージアム	観光における「図と地」の概念を検討した上で、地域全体を博物館と考えるエコミュージアムに基づく地域資源の発見と活用する方法を修得します。
第2回 1月11日(土) 11:10~12:20	京都外国語大学 教授 原一樹	見えない宝を探し、創り だすコンテンツツウリズム	観光者や観光地にとって情報・メディアが持つ意味と機能について、理論的観点や現代的事例(コンテンツツウリズム等)を通して理解を深めます。
第3回 1月11日(土) 13:20~14:30	北海道大学 客員教授 真板昭夫	宝探しとエコツウリズム	宝探しの実践事例を「5分野の宝探し(自然、生活の知恵、歴史・文化、産業、名人の宝探し)と、もう一つの要望の宝探し」という枠組みや宝の5段階戦略等で説明します。
第4回 1月11日(土) 14:30~15:40	流通科学大学 教授 辻本千春	ヘルスツウリズムと地域 創造	日本人に愛されてきた温泉や湯治が、ヘルスツウリズムとして脚光を浴びています。これについてニューツウリズムそして地域創造型観光という視点から概説します。
第5回 1月11日(土) 15:50~17:00	大阪成蹊大学 教授 国枝よしみ	観光マーケティングの枠 組み	そもそもなぜ観光にマーケティングが必要なのかを述べ分析手法や調査などマーケティング手法の標準の手順を紹介しします。
<b>ステップ2(1月25日) 地域創造型観光の計画:地域資源の観光への活用方法</b>			
第6回 1月25日(土) 10:00~11:10	大阪観光大学 特命教授 森山正	顧客と地域人材のマーケ ティング	集客力を高めるため「顧客」の視点は重要です。顧客マーケティングの戦略ポイントおよびコンピテンシー(人材適性)、NPS(顧客ロイヤリティ指標)を学習します。*NPSはネット・プロモーター・スコアの略です
第7回 1月25日(土) 11:10~12:20	摂南大学 教授 野村佳子	基本となるサービスとホ スピタリティの考え方	観光客に満足してもらうためには、目に見えないサービスの性質を知り、的確な提供を行う必要があります。サービスの特徴とマネジメントの仕組みについて学び、よりよいサービスを提供するためには何が必要なのかについて理解を深めていただきます。
第8回 1月25日(土) 13:20~14:30	地域計画建築研究所 主幹 小阪昌裕	観光マネジメントとまちづ くりの計画	地域創造のためには、地域内と地域外との両面の力が大切であり、その場合「観光とまちづくり」の視点から地域の経営や管理の方法について修得します。
第9回 1月25日(土) 14:30~15:40	阪南大学 教授 清水苗穂子	地域における観光商品 づくりと観光事業への活 用	観光商品の複合的特徴を説明し、観光商品を「中核的商品」「支援的商品」「付加的商品」に分類した後、だれもが観光商品づくりができるワークシートを提案します。
第10回 1月25日(土) 15:50~17:00	大阪市立大学大学院 客員教授 桑田政美	プロモーションとイベント の活用方法	プロモーションを効果的に実践するための「集客のための仕組みづくりとファンづくりの仕掛け」を、イベントの企画から実施・運営までの業務の理解を通じて修得します。
<b>ステップ3(2月1日) 地域創造型観光の運営:事業継続の方法</b>			
第11回 2月1日(土) 10:00~11:10	地域計画建築研究所 チーム長 高田剛司	多様な主体の総合力に よる観光地域づくり	これまで観光とは所縁(ゆかり)のなかった市民・事業者も観光に携わる動きが増えています。多様な主体が観光地域づくりに関わる場づくりの重要性を事例を交えて紹介します。
第12回 2月1日(土) 11:10~12:20	阪南大学 教授 福本賢太	地域創造を支える観光 人材	観光人材に関する主な動きを説明し、地域創造を支える観光人材を、観光産業、観光関連産業、関連団体の3つに分類し、事例・実例を紹介します。
第13回 2月1日(土) 13:20~14:30	立命館大学 客員教授 金井薫造	事業推進のための制度 の活用と資金の調達	観光振興事業に活用できる制度の活用と工夫について実際の施策を例にとり修得するとともに各種の活用資金について学び、調達方法について修得します。
第14回 2月1日(土) 14:30~15:40	大阪市立大学大学院 教授 小長谷一之	地域創造型観光のマネ ジメント~成功事例から みる7つの原則~	これまでの講義を踏まえて、「地域創造のための観光マネジメント」の考え方と方法のまとめと、最終回のプロジェクト計画書プレゼンの概要を説明します。
<b>最終日(2月8日) プレゼンテーションとフィールドワーク</b>			
第15回 2月8日(土) 10:00~17:00	(株)インプリージョン 森なおみ(FW) 講師全員(プレゼン)	受講者による地域創造 型観光のプレゼンテー ションとフィールドワーク	地域創造型観光のプロジェクト計画書を作成し、受講者全員でミニ・プレゼンテーションを行います。午後は市内の街歩きを行い、講座での学びを実践します。

**第14回「地域創造のための観光マネジメント講座」2019年度(2020.1.11.~2.8.)**  
 応募は「**観光カホームページ** <http://www.kankoryoku.jp/>」からお願いします。

**講師プロフィール**

<b>吉兼秀夫</b>	京都外国語大学 特任教授/ NPO観光力推進ネットワーク・関西理事 / 阪南大学名誉教授 / 元日本観光研究学会 会長
	観光における「図と地」論をベースに地域資源をまるごと活かしたエコミュージアム手法による観光まちづくりに取り組む。奈良県明日香村に居住し、見えない資源のビジュアル化による楽しい観光振興を地域住民、学生、諸団体、行政と取り組む。近畿運輸局観光アドバイザー会議議長、自治体の観光計画委員などに多数の事業に携わる。
<b>真板昭夫</b>	北海道大学 客員教授/ NPO観光力推進ネットワーク・関西会員 / 日本観光研究学会 会員
	大蔵省、通産省共管のシンクタンク政策科学研究所にて環境政策論研究に参加、その後環境省認可の生物系シンクタンク設立に参加し、自然、野生生物の保護管理研究にかかわり、1990年よりエコツーリズムの研究と運動を立ち上げる。西表島、南大東島、二戸市を始め、フィジー、ガラパゴスのエコツーリズムの推進に継続的に20年以上に渡り関わりを続けている。日本ガラパゴスの会副会長、日本エコツーリズム協会理事。
<b>原一樹</b>	京都外国語大学国際貢献学部教授 / NPO観光力推進ネットワーク・関西理事(事務局長) / 日本観光研究学会 理事・関西支部 幹事
	東京大学大学院人文社会系研究科博士課程(哲学)単位取得満期退学。埼玉大学・神戸大学非常勤講師、神戸夙川学院大准教授等を経て現職。フランス哲学や社会学理論の研究をベースに、広く観光学の理論研究・観光教育・観光調査に携わっている。
<b>辻本千春</b>	流通科学大学 教授 / NPO観光力推進ネットワーク・関西理事(学連協担当) / 日本観光研究学会 関西支部 幹事
	近畿日本ツーリスト(株)にて海外旅行部、バンコク事務所長等を歴任、大阪観光大学教授を経て現職。博士(創造都市)(大阪市立大学大学院創造都市研究科)
<b>国枝よしみ</b>	大阪成蹊大学 副学長、マネジメント学部 国際観光ビジネス学科学科長 教授 / NPO観光力推進ネットワーク・関西副理事長 / 日本観光研究学会 常務理事兼 関西支部長
	日本航空、ホテル日航大阪、奈良県知事公室 広報広聴課参事、観光交流局参与等を経て現職。
<b>野村佳子</b>	摂南大学経済学部 教授 / NPO観光力推進ネットワーク・関西理事 / 日本観光研究学会 理事・関西支部 幹事
	日本航空勤務を経て、2010年より現職。博士(経営学)。放送大学大学院「人的資源管理」兼任講師。航空会社、ホテル等の観光産業従事者を対象として、感情労働者のマネジメントについて研究している。
<b>森山正</b>	大阪観光大学 観光学部 特命教授/ NPO観光力推進ネットワーク・関西 理事長 / 日本観光研究学会 会員(元理事)
	ホテル、テーマパーク事業会社で取締役等を歴任。阪南大学教授を経て現職。兵庫県商工会連合会事業審査委員、大阪府魅力満喫券消費喚起事業委員長、夢洲まちづくり構想検討有識者会議、IRの誘致に向けた情報発信事業会議、大阪府外国人旅行者安全確保会議などの委員(長)を歴任。JICA「Human Resource Capacity Development」プロジェクトリーダー。顧客および人材マーケティングの視点から、地域・観光事業会社・外国政府観光庁の経営課題の解決に携わる。PBL学習の指導実績多数。
<b>福本賢太</b>	阪南大学国際観光学部教授 / 日本観光ホスピタリティ教育学会 理事/NPO観光力推進ネットワーク・関西 副理事長 / 日本観光研究学会 会員
	(株)日本交通公社(現JTB)、神戸夙川学院大学観光文化学部教授、追手門学院大学社会学部教授を経て現職。「観光甲子園」「産官学連携事業」等、観光事象フィールドにおける場形成に努め、多くの観光人材育成事業に携わる。
<b>清水苗穂子</b>	阪南大学国際観光学部 教授/ NPO観光力推進ネットワーク・関西理事 / 日本観光研究学会 関西支部 幹事
	近畿日本ツーリスト(株)、アメリカン・エキスプレス・インターナショナルリンク日本支社にてトラベルカウンセラー、販促、商品企画業務に携わる。地域が中心となるエコツーリズム、コミュニティ・ベースド・ツーリズムのマネジメントの研究を行う。神戸市、大阪市、大阪府にて各種委員、JICA観光人材育成研修コース・リーダーを歴任。
<b>桑田政美</b>	大阪市立大学大学院都市経営研究科客員教授/ NPO観光力推進ネットワーク・関西理事 / 日本観光研究学会 評議員
	大手旅行会社にて国内企画商品開発・宣伝担当、大型地域キャンペーン計画・実施、世界リゾート博等各種大型イベント、企業周年事業等のプロデュース、京都市観光振興基本計画策定等自治体の観光活性化・コンベンション振興事業等多数に携わる。
<b>高田剛司</b>	(株)地域計画建築研究所(アルバック) チーム長 / 日本観光研究学会 常務理事、関西支部 幹事
	まちづくりコンサルタントとして、各地のまちづくりや地域振興、観光振興に従事。一般社団法人日本計画行政学会関西支部理事。共著に「これでわかる!着地型観光」(学芸出版社)、「地域のチカラ」(自治体研究社)。技術士(建設部門:都市及び地方計画)。
<b>小阪昌裕</b>	(株)地域計画建築研究所(アルバック) 主幹 / NPO観光力推進ネットワーク・関西監事 / 日本観光研究学会 会員
	プランニングコンサルタント会社で公共マネジメント等を担当、主に近畿圏遠郊地域の広域圏計画、市町村総合計画、平成の市町村合併時の建設計画、地方創生の地方版総合戦略、地域振興計画・観光計画・CI計画等の策定とまちづくりに多数に携わる。
<b>金井萬造</b>	立命館大学経済学部客員教授/ NPO観光力推進ネットワーク・関西 顧問 / 日本観光研究学会 名誉会員
	まちづくり・都市計画・産業振興等のコンサルタントで観光振興・地域振興の計画に携わり、事業・組織・人材育成の取組みに関わってきた。10年前から立命館大学経済学部で観光経済学等の授業を担当している。
<b>小長谷一之</b>	大阪市立大学大学院都市経営研究科教授/ NPO観光力推進ネットワーク・関西理事 / 日本観光研究学会 理事 兼 関西副支部長
	経産省、国土交通省、環境省、都市基盤整備公団、UR都市機構、京都府、大阪府、大阪市、同北・天王寺・港各区役所、堺市、豊中市、高槻市、八尾市、箕面市、尼崎市、富田林市等で各種委員を歴任。大阪商工会議所都市再生委員。飛鳥ニューツーリズム協議会顧問。(財)大阪市北区商業活性化協会理事。(社)港まち協議会大阪顧問・評議員。
<b>森なおみ</b>	株式会社インプリージョンプロデューサー
	大阪/関西ワイナリー協会事務局長、J.S.A認定ソムリエ。全国でもめずらしい女性着地型観光プランナーとして、2018年グッドデザイン賞受賞の「OSAKA旅めがね」において、大阪ワインツアーをはじめ各地でツアー企画を行い、講師、アドバイザー等活躍している。